

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第42号 平成21年12月12日

早打ち多発、場面を考慮せよ！

チョモランマ有難う・そしてさようなら・・・



	1	2	3	4	5	6	7		R
S	1	0	1	0	1	3			6
G	1	0	0	1	0	0			2

12/12(土) 今期最終戦を、引地台球場にて、湘南ドリームスと行った。今日は昨日までと異なり、気温も高く、プレーし易いコンディションであった。この最終戦のマウンドを任されたのは、満を持してのキャプテン政司、相手チームの先攻で、幕は開けた。先頭打者の2球目、左への飛球をいち早くボール下に入ったレフトであったが、捕球したかの様に見えた打球は、一連の動作からエラーと記録され、先頭打者を出塁、次打者の時に、捕手一塁への牽制悪送球、次打者のセカンドへのフラット上がった打球を後逸、早くもピンチの無死2、3塁、4番の投ゴロの間に、無安打で、失点してしまった。立ち上がりのはりりとした状況で体格4番、ヨンドン@浅沼が今期初の仕事をした。四球で出た哲也とのエンドランが決まり、1点を返し、同点。しかし、3回にも失点の場面が。送球を慌てたエラーから1本の安打で失点してしまった。しかし、4回深沢が懸命に走り、内野安打で出塁、その後2盗、後続の打球で、3塁へ、ここで、江越がきっちり三遊間を抜き、またもや振り出しとした。しかし、5回にまともや、エラー絡みでまたもや失点、そして、決定的は、翌6回の1球で決定してしまった。2008年6月28日に誕生し、数々の場面を演出してきたチョモランマが見事に捕らえられ、打球が左中間真っ二つ！2走者が生還し、今日のゲームが決まってしまった。ゲーム終了後、「今日でチョモランマは封印だ」との言葉で、太陽を背負うと非常に効果を発揮してきた魔球も今日で幕を閉じることになった。今日のゲームを振り返ってみると、エラーでランナーを溜められる・失点する場面が多過ぎた。やはり、グラブに入れたら、確実に捕球する。確実に送球する。これは、どんな場面でも絶対に重要・必要な事である。イージープレーを如何にイージーにするか。簡単なようで中々難しい、打球のしたに入る時に、背面捕球では、先ず無理であろう。打球があがった瞬間で、如何に素早くボール下に入れるか？これは練習なのかも知れない。はたまた勘なのかも知れない。また、今日は全23打席中、相手投手の3球以内で、凡打が、10打席と早打ちが多過ぎた。積極性と消極性、裏腹です。しかし、安打も凡打も相手投手にとっては、気持ちが変わるので、助ける事になる。打つ事は大事だが、ボールをしっかりと見て、ボールを叩こう。良い球と感じた瞬間に目が離れるのが早いのかも知れない、この変を意識し、チーム打率向上を来期は目指そう。何はともあれ、1年間お疲れさま！